

MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2012年9月★第99号

マイタンブラーをもって応援しましょう！



マイタンブラー、たくさん使いましょう！

エコシティ仙台プロデュースプロジェクトでは8月18日に「平成24年度地球環境基金助成金」の事業として、「マイタンブラー持参促進キャンペーン2012」を行いました。

このキャンペーンでは紙コップの使用量の削減を目的として、ユアテックスタジアムでのホーム戦にてブースを出展しごみの減量を呼びかけています。期間は8月18日～11月7日のホーム戦6試合の予定です。

みなさんも観戦する時には、マイタンブラーを持って応援しましょう。



ベガルタ仙台マイタンブラー持参促進キャンペーンのスタンプ台です！

第17回 MELON会員と市民のつどい 「これからの暮らしとエネルギー～未来へ私たちができること～」開催

MELONの活動紹介と基調講演、遊んで体験できるエコブースが満載です♪
ぜひお気軽にお立ち寄りください。

日時：9月29日（土）13：00～16：30
会場：メディアテーク1F オープンスクエア

来場
自由！

ステージエリア

- 13：30～MELON維持会員総会
- 14：30～リオ+20参加レポート
- 15：00～記念講演：「これからの暮らしとエネルギー～未来へ私たちができること～」

体験ブースエリア

うちエコ診断/セミのなき声とぬげがらクイズ/木工クラフト/食べ物の匂クイズ/チラシの箱作り/手動式生ごみ堆肥化容器展示 など…

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境と暮らし・ネットワーク ― 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとらして環境と暮らしを考え、地域と地球環境に寄与しようとする多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。
MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - 年5回の情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1. マイタンブラーをもって応援しましょう！
MELON 会員と市民のつどい案内
- P2. リオ+20 参加レポート
- P3. 「MELON 版復興住宅」を提案します
食と農と放射能講座レポート
- P4. MELONcafe プチ講座
かんきょう読み聞かせ「はやくはやくっていわないで」
- P5. 協同組合からのお知らせ
50人リレートーク 千坂げんぼうさん
- P6. ストップ温暖化センターみやぎ通信
- P7. セミのなき声調査
インターン紹介
- P8. 投稿、イベント一覧、編集後記

リオ+20 (国連持続可能な開発会議) 参加レポート

6月20～22日にブラジルのリオデジャネイロで開催された「リオ+20」にMELONから理事2名が参加しました。

「リオ+20」の成果は？ (長谷川 公一)

20年前をしのぐ約5万人が参加した「リオ+20」ですが、具体的な成果は乏しいものになりました。「私たちが望む未来」という合意文書で「グリーン経済」と「持続可能な目標ゴール」が正式に国際社会の目指す目標となりましたが、全参加国が合意できるものにするために、合意できない箇所は大きくカットされ、抽象的に薄められ、具体性の乏しいものになってしまいました。肝心の「グリーン経済」も何を意味するのか、概念規定も境界も曖昧です。先進国と途上国との間の対立、かつてのEUに代わるリーダーシップの不在などが基本的な要因です。

20年前のリオ会議では、ローカル・アジェンダ、気候変動枠組み条約、生物多様性条約などが生まれました。国際社会におけるNGOや環境NGOの役割に



本会議場、アルファベット順に各国政府代表が並び、NGOの席もある。

はじめて光があたり、大変熱気があったのにと、惜しむ声を会場で聞きました。ヨーロッパの冷戦構造が終焉し、21世紀を目前に、これからは「環境の世紀」だという期待感もあったでしょう。今回の会議は、新しい仕組みや仕掛けを何も生み出さずに終わってしまいました。

20年経って、国際間、また各国内の経済格差はさらに拡大し、「まず経済を！」という声に、「環境を」という声はかすみがちです。

日本政府の存在感も、乏しいものに終わりました。東日本大震災と福島原発事故から何を学び、何を教訓にして持続可能な未来を描こうとするのか、を国際社会にアピールする格好のチャンスを日本政府は逃してしまいました。

公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) の代表として、津波被災地の声を、英文リーフレットにして届けた。



地域はどう関わっていくのか？ (石垣 政裕)

軍隊と警察のものものしい警戒にまもられて「リオ+20」が開催されました。本会議の前から合意文書の交渉が行われており、メジャーグループという枠に位置づけられるNGOの一員として参加した私たちにも、合意形成の過程がメーリングリストを使って逐一届けられました。



ジャパンパビリオンの展示



パビリオンの中でのデンマーク首相のインタビュー

欧州経済の低落と不安定、先進国と途上国、そして大国の思惑もあるのでしょうか、合意文書は報道にもある通り、『私たちが望む未来』という格調高いタイトルに似つかわしくない、トーンダウンしたものになりました。

それでも、国際社会が「合意すること」に希望をつないだことは評価したい。そして合意文書

成分の最後の最後まで交渉を続けた女性グループや子どもおよび青年のグループの働き、一年前からこの会議の進行を追いかけ、政府の担当者や報道機関に働きかけ続けた民間の団体の動きを、20年前の、「NGO」という言葉すら珍しかった時代に比べれば、『私たちが望む未来』にむけて着実に進んでいると思いました。

Rio + 20 のメイン会場で演説した日本の外務大臣の口からは原発の「げ」の字も発せられませんでした。昨年の3・11の大震災とそれに端を発する福島第一原子力発電所の事故。それによって現実に自然が破壊され、人々がふるさとを追われているという現実の中で、「未来都市」を高らかに歌い上げる日本の政府代表のすがたに、「夢のエネルギー」と原子力技術を信奉し続けた天真爛漫さの続きをみているようです。私たちの宮城県を含め被災地の第一次産業も、それでも、立ち上がろうと血のにじむような努力をしています。本当なら世界の人々の問題意識に日本が真摯に答える必要があったのかもしれませんが。今回の震災を一地方の出来事のように政府が扱っていることは『マギャク』に、私たち「地域」が、地域のNGOが世界と向き合う必要がある、その時代がもうすぐそこまできていることを、日本から一番遠いリオデジャネイロで気づかされました。

「MELON 版復興住宅」を提案します！

6月11日開催の理事会でMELON版復興住宅の検討委員会を設けて宮城県に対してMELONとしての提案を行うことが確認されました。

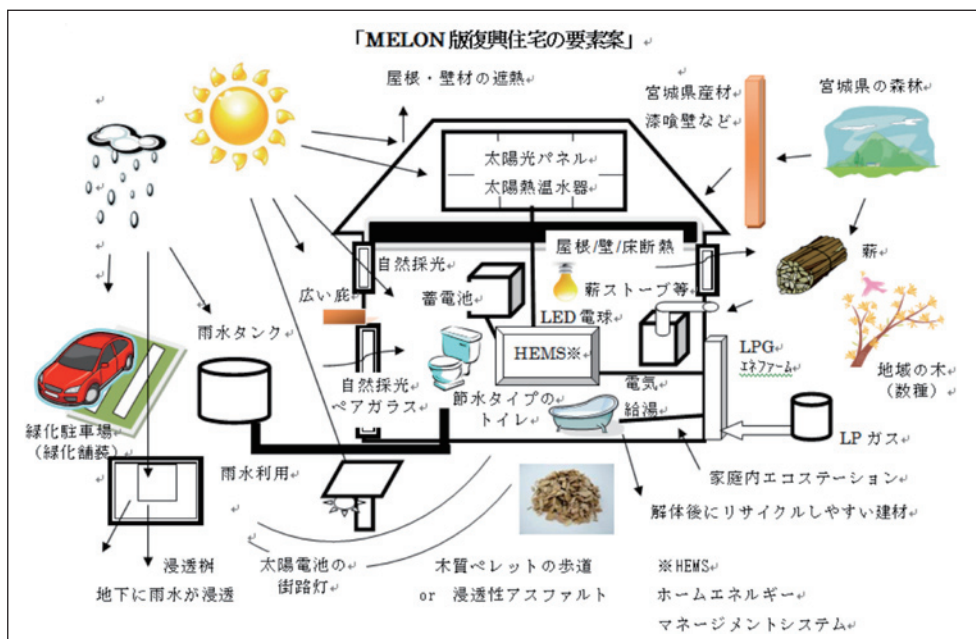
復興住宅の基本理念を①宮城県産木材を使用した木質住宅を考慮すること②エネルギーは電気のほかにガス・太陽光・木質系の燃焼エネルギーの利用を考慮すること

③地球にやさしい再生可能エネルギーを積極的に利用しつつCO₂排出量を可能な限り削減すること④災害時や緊急時にエネルギー確保ができることとしました。検討委員会ではそれらを構成する水・光・熱などの付属設備機器や環境仕様などを20項目程度の要素案として取り上げ、討議しました。

この提案の提出先は県土木部ですが、現在進行中の「みやぎ復興住宅整備推進会議」の場でMELONとして提案する方向で調整しています。10月中旬の第3回推進会議へ正式構成員として参加し、MELON

版復興住宅提案（仮称）を提案するべく現在は提案案をまとめている段階です。

被災された方々が少しでも安心した生活を保てる住宅を、また次世代の人や地域の環境を配慮した住宅をMELONから提案をしたいと思います。



一食と農と放射能ー 福島を知り福島から学び

日時：6月21日（木）18：00～20：30

場所：フォレスト仙台5階501会議室

参加者：28名

講師：小山良太氏（福島大学経済経営学類 准教授）

高橋賢一氏（ふくしま土壤クラブ 代表）

千葉あや氏（主婦兼福島大学うつくしま未来支援センター サポート研究員）

原発事故から1年以上が経過した今でも、福島では今の問題として放射能汚染があります。

小山先生は、チェルノブイリ原発事故の影響を受けたベラルーシとウクライナを訪問してその対策を調査し、それを福島に活かしています。

ベラルーシ・ウクライナの日本とは異なる特徴的な対策は、①詳細な汚染マップと土壌分析に伴う作付指導②汚染地域に中心研究機関を設置③除染をせずにゾーニングと土壌改良で対応 などがあります。農地1枚ごとの土壌検査から、その汚染状況に応じて作付可能作物

の認証を行ない、直売所・流通においても系統立った検査体制と対策を行っています。

土地の汚染があったとしても、それを作物に移行しないようにする。汚染度が高いところでは、食用ではなく加工用とし、その加工の過程でセシウム0にする。改めてそれらの具体的な対策を聞くと、とても理論的でシンプルなことと感じました。

「詳細な検査体制とそれに応じた対策を地道に行うことが、「風評問題」を克服することにつながる。」という言葉に納得でした。

実際に、若い世代の果樹農家のふくしま土壤クラブでは、GMサーベイメータを用いてメッシュ状の詳細な計測を行ないマップ化。全園地の樹に粗皮削りや、高圧洗浄を実施するなど放射線測定結果の不検出を目指して対策を行っています。

福島は放射能汚染に対して、最も先進的な取り組みを行なっている地域です。その経験から私たちが学べるものがたくさんあると感じる講座でした。



MELONcafe

MELONcafe プチ講座

- 6月2日(土) 13:30 ~ 14:30
「保冷剤でひんやり♪ハンドメイドスカーフ作り」
- 7月7日(土) 13:30 ~ 14:30
「包装紙をリサイクル☆手作り七夕飾り作り」
- 7月28日(土) 13:30 ~ 14:30
「夏野菜で体を冷やそう! 省エネクッキング♪」

6月の講座は夏の省エネ講座として昨年も好評だった「保冷材のスカーフ作り」を行いました。使わなくなった布をリメイクして、冷凍庫に眠っている保冷剤を入れます。そのスカーフを首に巻くと体全体が冷えますし、冬にはホッカイロ



世界で一つの保冷材のスカーフ

を入れれば体が温まります。参加者は自分流にアレンジをして、素敵なスカーフを作りました。

また、ごみの減量を目的にする講座で「七夕飾り」の講座を行いました。仙台市では昨年(平成22年度)のごみの総量が36.7万tあり、平成

32年までに33万tと10%の減量を目標としています。(ごみ減量・リサイクルわかる本2012参照) まずは家にある包装紙を七夕飾りの装飾として繰り返し使うことでごみの減量の1歩につながります。

最後に夏野菜を使った省エネクッキングの講座です。夏野菜は水分を多く含み体を冷やす効果があります。また、パスタは沸騰したお湯に入れたら、フタをして火を止め、保温調理でゆでました。保温調理でキッチンが少しでも暑くなることを軽減できます。講座の中では、自宅でできる夏の省エネのポイントも紹介しました。夏の日差しが強い窓辺には「よしず」や「遮熱シート」が効果的です。

MELONcafeでは季節に合った省エネの講座を今後も継続して行います。



お気に入りの包装紙で七夕作り



冷製パスタ作り、夏野菜って体が冷えるんだ!

今後のMELONcafe プチ講座

- 9月15日(土) 13:30 ~ 14:30
「古着をリメイク♪布のネックレス作り」



はやくはやくっていわないで

(益田ミリ・作、平澤一平・絵、ミシマ社、2011年6月)

・・・決して原稿の催促のことをいっているのではありません。根拠のない安全性をちらつかせて原発再稼働を進める政府に対して叫んでいるのでもありません。でも、どことなくそんなことに通じるのかなぁと思ったりしています・・・

たぶん、自分の子どもにどうむきあっていこうかってことですね。こどもたちひとりひとりにそれぞれのやり方があるし、ひとりひとりの速さがあります。でも、一人で子どもを育てていると、となりの子どもの方が進んでいるんじゃないかと不安になりますよね。だから、他の子どもと比べてしまい、どうしても「はやく」と言ってしまう。

子育てはオリンピックじゃないんですからもっとじっ

くり待つことが必要です。この「待つこと」には相当のエネルギーが必要で、これはピューッと帰ってくる新幹線よりずっとずっと大きなエネルギーです。でも石炭や石油とちがって、使っても使ってもなくなることはないのですから

どんどん使いましょ。ふるさとからたくさんの人々を追いやってしまうような危険な工場も必要ありません。やさしいあなたの心の中で作られる、その子の今を認めてあげることでどんどん生み出されるエネルギーなのです。そうだ。このエネルギーの単位を決めましょ。「ジューツ」というのはどうですか? なんとなく単位らしくありませんか? お風呂に入ろうと服を脱いでいる上の子には300ジューツ、ゆっくりご飯を食べる妹には580ジューツが必要。スーパーの駐車場で手をつないで125ジューツ、幼稚園の道すがら200ジューツ。ではどうしたらこの「ジューツ」は生まれやすくなるのでしょうか。子育てを経験したら知っているひとがいるかもしれませんね。でも、どうぞ、ゆっくりとお考えください。



各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

「秋の森でオリジナルリース作り」

泉ヶ岳の麓にある「こ〜ぶの森永倉山」でツル切などの森の手入れ体験と切り取ったツルでオリジナルリースをつくります。

日 時：10月20日（土）
 集 合：仙台駅西口貸切バス発着所 9：20（16：00着予定）
 募 集：30人
 参 加 費：大人1,500円、中学生以下500円、未就学児無料
 持 参 物：昼食・飲料・軍手・敷物・雨具・帽子、可能な方はノコギリ
 締 め 切 り：10月12日（金）
 申し込み方法：名前・住所・電話番号を明記し、ハガキ・FAX・メールで下記までお申込ください。



昨年、いっぱいリースを作りました。

申し込み・問い合わせ先

みやぎ生活協同組合生活文化部 暮らしの活動事務局
 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
 電話 022-218-3880 FAX 022-218-3663
 Eメール sn.mkankyok3@todock.jp



MELON20周年をめざせ！ 50人リレートーク



第42人目の執筆者
 千坂げんぼうさん
 （祥雲寺住職、久保川イーハトーブ自然再生協議会）

皆さんは「ミヤテ県」を聞いたことがありますか？ 一関は旧仙台藩の支藩・田村家支配の城下町です。したがって、生活文化など宮城県同様なので、ミヤ（宮城）の要素が強いのです。しかし、明治維新で、テ（岩手）に組み入れられ、情報など全てが分断されました。

ところが、「国破れて山河あり」で、県境の磐井丘陵帯は、県に関わらず生物多様性に富む世界として知られていました。私たちは、その磐井丘陵帯・一関側の一部を「久保川イーハトーブ世界」と命名し、豊かな生態系多様性を守る運動を続けています。

普通何気なく「緑豊かな自然」と言いますが、その実態をあまり調べていないことが多いのです。そ

ういう弊害をなくすため、私たちは東京大学大学院の研究者と、「自然再生推進法」という法律に基づく「久保川イーハトーブ自然再生協議会」を立ち上げ、「侵略的外来種の排除による溜池環境の保全・再生事業」と「長倉地区における落葉広葉樹林の保全・再生事業」を実施しています。

この活動で、ウシガエル、オオクチバス、アメリカザリガニ、セイタカアワダチソウなどの侵略的外来種を排除することに成功しつつあります。この実践例を宮城側に紹介し、岩手だけでなく、「ミヤテ県」と共に、生態系の豊かさを誇る地域にしたいものです。

連絡先0191-29-3020

… 次号執筆者紹介 …

佐々木豊志さん
 （くりこま高原自然学校 代表）



ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.56

「うちエコ診断」で効率よく省エネ！家計もおトクに！

6月からうちエコ診断の受診者募集・診断を開始しました。うちエコ診断とは、省エネの専門知識を持つ診断員が専用の「うちエコ診断ソフト」を使い、対話しながら受診者のご自宅のエコロジー度を判定！診断結果をも

とに、受診者のライフスタイルに合わせた省エネ対策を提案します。

今年からウェブ申し込みが可能になったことや、うちエコ診断ソフトが改良されたことにより、より受診しやすく、診断内容も分かりやすくなりました。

診断は無料です。ぜひお気軽にお問い合わせください。



うちエコ診断風景

実施期間：2012年6月1日～2013年1月末
 申込方法：直接ウェブ申し込みいただくか、メール・電話・FAXにてストップ温暖化センターみやぎまでご連絡ください。
 ウェブ申し込み / <http://uchieco-shindan.go.jp/touroku/index.php>
 E-mail / stop_gw@miyagi.jp
 TEL / 022-301-9145 FAX / 022-219-5710

推進員だより No.5

地域イベントで大活躍中！

ストップ温暖化センターみやぎでは県内各地で行われるさまざまな地域イベントにブース出展を行っています。それらは推進員さんとの協力で成り立っています。今年度もイベントにてたくさんの推進員さんが活躍しています。

第6回市民活き生き健康フェスティバル

日 時：5月26日（土）
 場 所：登米市祝祭劇場
 内 容：マイタンブラー作り
 活動した推進員：千葉智恵さん、蓬田恵美子さん



子どもから大人まで大人気のマイタンブラー作り

学都仙台宮城サイエンスデイ2012

日 時：7月15日（日）
 場 所：東北大学川内北キャンパス
 内 容：身近な家電製品の電力測定、電球比較など
 活動した推進員：佐々木義朗さん、澤田裕子さん、菅原紀男さん、長井庄一さん、新野進さん



白熱電球とLEDどっちが省エネかな？

せんだい地球フェスタ2012

日 時：7月29日（日）10：00～17：00
 場 所：仙台国際センター
 内 容：ツバルの写真展、七夕飾り
 活動した推進員：菅野喜美恵さん、千葉さえ子さん



ツバルの美しい写真にたくさんの方が足をとめて見入っていました。

当日の様子など詳しくは、ストップ温暖化センターみやぎのブログをご覧ください。昨年中止となったイベントもそくそくと復活しており、今後もイベントに大忙しとなりそうです！

今年の夏、どんなセミの声を聞きましたか？

■セミのなき声レポート募集！

期 間：7月～9月末

方 法：自宅や出かけ先などなき声を聞いたセミをレポートする。

■生きもの講座「～聞いて・観て・体験しよう～

集まれ！夏のいきもの調査隊！！」実施

日 時：8月8日（水）9：00～11：00

場 所：青葉の森緑地

講 師：高橋雄一さん（小さな昆虫館とみざわ 館長）

参加者：15名

昨年からはじめたセミのなき声調査。みなさんは今年、何種類ぐらいのセミの声を聞きましたか？

カナカナカナ…と鳴くヒグラシ、ミンミンと鳴くミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ジリジリ…はアブラゼミです。その他にもよく聞かれていても、認知度があまりないチーシーと鳴くニイニイゼミや、松林によくいてギーギーと鳴くエゾゼミ（別称マツゼミ）。

セミはとても身近な生きものですが、その声に興味をもって耳を澄ませる方は少ないのではないのでしょうか。意外に聞き分けることも難しいものです。

そこで、今年は夏休みの子もたち向けにセミなどの生きもの講座を行ないました。講師には、昆虫博士の高橋雄一さんです。セミはカメムシの仲間です。口にストローがあること、

鳴くのはオスだけで、中が空洞でアコーディオンのような形のお腹を震わせることで音を出すことなどセミについてのお話を聞きました。

外ではセミのぬけ殻をたくさんみつけ、4種類のセミのぬけ殻をGET！虫とりに夢になる親子の姿が見られました。

身近なところにもたくさんいる生きものたち。耳を澄ませて、目を凝らして、触ってみると、これまでと違った風景に出会えるかもしれません。



大きな珍しいセミにびっくり



こんなの見つけたよ～！と見つけた生きものを講師に尋ねる子どもたち

今年のインターン生を紹介します



【名前】谷浦 睦美

【所属】東北大学農学部

【趣味】人と話すこと、イベント参加

【一言】環境をテーマに働くということを学びつつ、たくさんの人の役に立とうと思います！
よろしくをお願いします。



【名前】亀岡 弥生

【所属】東北福祉大学

【趣味】写真撮影 散歩

【一言】今しかできない経験を自分のものにできるよう、笑顔を武器に全力で取り組みたいと思います！



【名前】高田 茜

【所属】東北大学文学部

【趣味】映画鑑賞、読書、カフェめぐり

【一言】Think Globally, Act Locallyを自分もモットーにして、身近なちいさなことから、環境にやさしい活動の推進に自分が貢献できるように頑張りたいです。よろしくをお願いします。

99 号の投稿テーマ

「サマタイム導入する?しない?」

導入していない
大学では、昨年は節電
していましたが今年は
あまり…
個人的にたまたま早起き
をしています！
学生 K

導入していない
勤務時間帯は、顧客、
関係機関との対応が
多く、現在の勤務時間
帯に業務が集中して
います。
当方だけが就業終了
時間を早めることは
できません。また、当
方単独で行う業務が
少なく、就業開始時間
を早めるだけの業務
量もありません。
社会全体で導入しな
ければ、当方だけでは
導入できません。
P,N みんなで渡れば

一部導入
7～8月に営業部、総務部、企画
部は通常営業時間 8:30～17:00
だが、生産部（印刷・製本部門）
は 7:30～16:00 勤務で一部サ
マタイムを導入した。
ハリウコミュニケーションズ(株)

投稿募集

100号テーマ

「MELON へのメッセージ」

次号は記念すべき100号です！100号を記念して、これからのMELONに期待することやこれまでのMELONを振り返ってなど、自由にメッセージをお寄せください。

特典

特典投稿が採用された方には、「500円分のMELON協力COOP商品券」をプレゼント♪（みやぎ生協の各店舗および宮城県内の日専連加盟店で使えます。）



投稿方法

■投稿文とペンネームを明記し、メール・FAX・ハガキ等にてMELONへお寄せください。

ケータイからの投稿はQRコードからご覧いただくと簡単です。



■締め切り：10月10日（水）

編集後記

- 寝不足のロンドンオリンピックも終わりましたが、日本チームの活躍は素晴らしかったですね、私が一番うれしかったのは卓球女子の福原愛ちゃんチームのメダルでした。たくさんエネルギーをもらったのでまたガンバします～（木城）
- 今年も、自宅で緑のカーテンを設置しました。今年で3年目になります。効果は絶大とまではいきませんが、外から見ると、とても涼げです。収穫したゴーヤが食卓に並ぶのも楽しみのひとつです！（三浦）
- 残暑きびしいですね…。でもみなさんがこの情報紙を手にする頃にはきっと秋風が吹いて過ぎ行く夏に寂しさを感じていると思います。温暖化は困りますが、やっぱり夏が好きです。（小林）

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

9/20 (木)	MELONcafe 企画部例会
9/22 (土)	水部会例会
9/22 (土)	「まちなか eco マルシェ」に出展
9/29 (土)	MELON 会員と市民のつどい 「これからのくらしとエネルギー～未来へ私たちができること～」
9/30 (日)	「木が結ぶ『森』と『暮らし』～森を見る目を育む見学会～」
10/1 (月)	自然エネルギー等普及プロジェクト例会
10/6 (土)	「バガルタ仙台エコ体験ブース（仮）」
10/17 (水)	仙臺農塾プロジェクト 「芋煮で飲もう！～美味しく作って女子力&男子力UP!～（仮）」
10/19 (金)	「エコプロダクツ 2012」に出展 ～21(日)～
10/22 (月)	食部会例会
10/27 (土)	「まちなか eco マルシェ」に出展
10/28 (土)	「エコ芋煮会」
11/2 (金)	水部会例会
11/10 (土)	「秋の森で遊ぼう！ in 川崎町貸森林」

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

MELON事務局内に2012年度宮城県住宅用太陽光発電システム補助金受付窓口を開設しています！

- ◆受付期間：平成24年7月2日（月）～平成25年3月29日（金）（必着）※ただし、宮城県の予算がなくなり次第終了。
- ◆補助金額：1kWあたり2万円（上限8万円）
- ◆受付予定件数：約3,000件

国の補助金への上乗せとなるので平成24年度のJ-PEC太陽光発電導入支援補助金の交付決定通知書が届いている方が対象です。

詳細内容は以下URL 宮城県環境政策課のホームページをご参照ください。

[http://www.pref.miyagi.jp/kankyo-s/syouene/taiyoukou\(H24\).html](http://www.pref.miyagi.jp/kankyo-s/syouene/taiyoukou(H24).html)

会員状況

821名

法人 92

任意団体 13

個人 716

2012年6月30日現在



ボランティアポイントカード制度をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1ポイント差し上げます。5つ貯まると1,000円分のMELON 協力商品券と交換できます。

MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部がMELONに寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用いただけます。

発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5710

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL <http://www.melon.or.jp/melon/>



この印刷物は、輸送マイルージ低減によるCO₂削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インク「ライスインク」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。